

平成 27 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代表者の役職・氏名 会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
(コード番号 4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL : 03-5789-5872 (代表))
代理人の ベーカー&マッケンジー法律事務所
住所・氏名 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙
(TEL : 03-6271-9900)

トランスレーショナル医療担当上級副社長の任命に関するお知らせ

シアトル市 (2015 年 8 月 4 日 (米国西海岸時間)) – 世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオテクノロジー企業であるアキュセラ・インク (以下「当社」といいます。) は、2015 年 8 月 4 日 (米国西海岸時間) にシアトル本社で開催された当社の取締役会において、ルーカス・シャイブラー博士をトランスレーショナル医療担当上級副社長 (Executive Vice President of Translational Medicine) に任命いたしました。同氏は、眼科領域の研究開発において卓越した経験を有しており、当社では前臨床試験 (基礎研究) の成果を臨床開発につなげる過程を担当してまいります。同氏は、POC (開発コンセプトの妥当性) が確認される前までの基礎研究開発を含め、新規プロジェクト導入についての検討などの責任者として従事するだけでなく、主要な大学や研究機関との提携などを担当し、当社が研究開発の促進、事業拡大を進めていく上で重要な役割を果たしてまいります。

記

1. 新任上級副社長の氏名および役職名

ルーカス・シャイブラー (Lukas Scheibler)

トランスレーショナル医療担当上級副社長 (Executive Vice President of Translational Medicine)

2. 新任上級副社長の略歴

シャイブラー博士は、2002年にノバルティスファーマのスイス本社にグローバル薬事・規制担当マネージャーとして入社しました。2008年から2011年まではアルコン社（ノバルティスグループのアイケア部門）において副社長兼グローバルの研究開発における事業開発担当者を務め、LenSx Lasers社の買収（最大744百万米ドル）、ESBATech社の買収（最大589百万米円）およびアストラゼネカ社が保有する眼科領域の化合物への独占的アクセス権の獲得など、複数の主要案件において重要な役割を果たしています。その後、副社長兼グローバル臨床開発責任者を務め、直近ではアルコン社の研究開発部門の中で眼科領域におけるアンメットメディカルニーズ（治療法が確立されていない疾患）に対する革新的な医療技術の研究開発を担うIdeation and Technology Evaluation Centerの副社長を務めました。同氏はバーゼル大学の化学修士号およびスイスのローザンヌ大学より化学博士号を取得、米国ハーバード大学にて博士課程終了後の研修を修了しています。

3. 異動日

2015年8月17日（米国西海岸時間）

以上

アキュセラ・インク（Acucela Inc.）について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオテクノロジー企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタト塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発契約を有しております。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測および

リスクを伴う想定(一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません)に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。